STUDY TOUR in USA 2019

ASUWA English Course

No.8　DAY 8　February 17, 2019

【ホストファミリーとお別れ】

　ホストファミリーとの別れの朝が来ました。朝９時、ホストファミリーに車でボッセル高校まで送ってもらった生徒たちは、別れを惜しんで握手やハグ。手紙を渡している人もいました。中にはお互いに涙をこぼすファミリーも。それだけ心の通じたコミュニケーションができていたのだと、教員としては本当にうれしい感動の瞬間でもありました。ホストファミリーたち、コーディネーターの池上さん、ボッセル高校の千夏子先生に見送られながらバスは出発しました。

【ボーイング工場見学】

　乗車２０分ぐらいで車窓に大きな建物が見えてきました。ボーイング社の飛行機工場です。世界最大の建物としてギネスブックにも登録されているとか。バスの中でガイドさんがその大きさについて、アメフット場の何倍だとか、バスケットボールコート何面分だとかいろいろ説明してくださいますが、それさえあまり想像できないほどの規模です。見学受付の建物からはさらにツアー用のバスで移動。

（次ページへ）

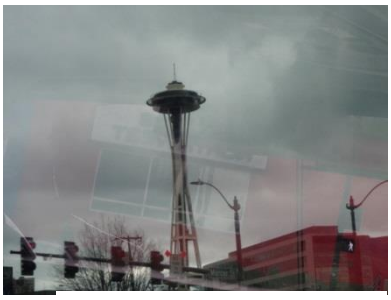
工場案内係の方の説明はもちろん英語。生徒たちは案内係の英語での説明は理解できない部分も多かったものの、工場内で何機もの飛行機が実際に組み立てられている様子を目にし（写真撮影は NG!）、そのスケールの大きさに肝をつぶしていました。あの大きな飛行機も、トヨタの流れ作業のジャストインタイム方式を採用して作業効率化を図り、６日に１機完成させるということにも驚きました。

工場をあとにし、大きなショッピングモールのフードコートで、各自思い思いのメニューで昼食をとりました。

【スペースニードル】

いよいよシアトル市内に移動し、まずシアトルのランドマーク的存在であるスペース・ニードルへと移動しました。スペース・ニードルは５０年ほど前の万国博覧会の折に建てられたタワーで、エレベーターを使って昇った先に、シアトル市内を見渡せる展望台を備えています。上空から見渡す３６０度の絶景に、生徒たちも歓声を上げていました。床が透明で足元が地面まで見える、高所恐怖症の人は一歩も踏み出すことができないエリアもあり、短い時間でしたが、生徒たちは満喫した時間を過ごしたようでした。

シアトル中心部の高層ビル群


スペースニードル

（次ページへ）

【パイク･プレイス･マーケット】

スペース・ニードルの後は、パイク・プレイス・マーケットという、古くからある市場（日系人が始めた）エリアに移動。全員でガムウォールという噛んだガムだらけの壁を見た後、グループ自由行動。名物のスターバックスコーヒーの１号店がこのエリア内にあります。市場を見学した班もあれば、スターバックスでご当地グッズを購入するのに行列に並んだ人もいました。

「ガムウォール（ガムの壁)」噛んだガムを壁にくっつける名所

市場の様子

スターバックス１号店　　行列に並びました。

（次ページへ）

夕食はホテルから徒歩１５分ほどのイタリアンのレストランにて。食べきれないほどのボリュームで大満足でした。全員そろっての食事にみな大変な盛り上がりようでした。

＜生徒の感想＞

<u>ロメロ・アンジェリカ</u>　“Strike while the iron is hot”

We took the long flight from Japan, and we finally arrived at Seattle!　The first thing we saw was snow, which makes a lot of inconveniences for us, so I hope we don’t get into any troubles related to snow.　After we arrived at Bothell High School, I met my host finally member Chris, we went to his house, we chatted a little bit, and he took me around the house.

<u>嵐山　遥</u>　「飛行機」

私は初めて飛行機に乗りました。耳がキーンとなりました。国内旅行みたいな感じで海外に行く！っていう感じではなくて．．．。

でも街並みが見えてきて、あー着いたんだ、自分の母国を離れたんだと実感してきました。

アメリカに着いて、Welcome Party でピザが出ました。美味しかったです。

意外にも、ホストファミリーの家では靴を脱いで家に入ります。洋画で見たのは靴のままだったので、新しい発見をしました。

（次ページへ）

沖村ユースケ

ホームステイに来た時から親も子もみんな仲いいなと思いました。近所とかに行ってもみんなフレンドリーで、どこも仲いいなと思いました。僕は自分の家族とも結構仲がいいと思っていましたが、ホームステイしている家族はそれ以上だなと思いました。自分のホストブラザーの友達はすごくいい人たちで、自分のいるホストのお母さんとその友達のお母さんもすごく仲が良かったです。その友達の家が停電になったときもホストファミリーが朝食に彼らを家に誘いました。すごく仲がいいなあと思いました。

奥出大寛　「40 後半から 50 前半の日本人、シンジ!!」

真っ昼間からのんきに散歩していた。

ちょっとでかめのスーパーの裏を歩いていると、車がスリップしていた。見たところ中国人と思い、助けるか、否か、右往左往迷っていた。まあ、助けたんだけど．．．。

僕は話しかけた。そしたら、車がスリップして動けないと言った。

まあ、見たらわかるけど．．．。こんなことも聞いたら俺は変だろうか、って悩みながら助けていた。まったく動かない。そしたらその人は日本語で、「日本の方ですか？」と言ってきた。私はその人が日本人だと分かり、喜んだ。

その後はちょくちょく話を交わしたところ、分かったことがいくつかあった。名前はシンジ。17 歳の時にシアトルに来て、30 年以上になるそうだ。妻はアメリカ人、乗ってる車は日本車，，，ぐらいかな？
そうしていると、車が動いて深々とお礼をして帰って行った。

変わり者の僕は、それを見て「変わり者だなあ．．．」と思って名前を告げず、帰った。